

## 今回の経験で自分の可能性が広がったと思う。

引っ越してきたばかりの時に  
見たニュースがきっかけ

当時、私たち家族は白河に引っ越してきたばかり。子どもの預け先の確保等を優先すると、仕事をすぐに始めるのは難しいかなと思っていました。そんな時、ニュースでこの活動のを知り、「自分以外にも同じような悩みを持っているママもいるんだ!そしてそんな私たちに白河市が気づいてくれたんだ!」と感銘を受け、参加したいなと思いました。

Member 04



佐藤 美由紀

- ・白河市在住
- ・2児のママ
- ・1年前に夫の転勤で白河市に移住

「いつもと別の居場所ができた  
感覚」は心地よい感覚だった

できない理由を考えるより、「やってみたい」という自分の心を優先し、参加を決めました。活動してみると、いつもとは別の居場所ができた感覚というか、気持ちの切替えができて、それが自分にとって心地よい感覚だと気がきました。また、子連れで作業したことで「ママの仕事をしている姿」を子どもに見せられたことも貴重な経験だったと思います。

今なら言える  
「やっちゃえ、やっちゃえ」

活動の中で小冊子をつくらんと聞いた時、未経験でも本当にできるのか、具体的に何をやるんだろうと、不安もありました。でも、チームでひとつのものを創っていくのは楽しくて、「初めてのことで私、できるんだ!」という実感に変わっていきました。もし活動参加前の自分と話せるなら、「やっちゃえ、やっちゃえ!」って背中を押してあげたいですね。

Message

ちょっと勇気を出してみたことで、新たな人や仕事等との出会いがあったので、とてもありがたかったなと思っています。「やってみたい」その“心”を大切に、踏み出してみませんか。

活動を振り返って

この活動に参加して、チームで協力し合っ取り組む楽しさを大いに学べたと思います。チームだからこそその難しい部分も含め、みんなで創りあげられたことで、自分自身、もっといろんなことに挑戦できたり、可能性があるんじゃないかと思えました。また、この活動で「働き方」の新たな選択肢に出会えたことも自分にとっては大切な気づきだったなと思います。

## 「お互い様」と思える“わたし”の居場所ができた。

悩んで過ごすくらいなら  
何か行動しよう

体調を崩し退職したため、なかなか復職する勇気が持てずにいました。そんな時、「Ripples」を知り、復職できないことを悩んで過ごすくらいなら、何か行動しようと思い、説明会へ。この活動の趣旨、そして「ライフ・ワークサポート」という事業名に惹かれ、「この活動なら自分の状況への理解もあり、何かきっかけになるかも」と思い、参加しました。

Member 03



小谷田 由香

- ・白河市在住
- ・高校生、中学生 2人のママ
- ・元看護師

時間の使い方を工夫したら  
興味があったことにも挑戦できた

在宅で作業をしたことがなく、場所もなかったのが最初はなかなか集中できませんでしたが、場所を確保することで、在宅作業がとても快適になりました。また、これまでより時間の使い方を考えて動くようになり、生活全体もキチンとした感覚がありました。そして、興味のある資格の勉強も並行して始め、無事資格も取得できたのは嬉しかったです。

頑張れた秘訣は  
メンバー間の「お互い様」感覚

活動がスタートするとき、私たちメンバーや運営側の方もみんなで丁寧な自己紹介をし合いました。そのことで心理的な距離が縮まり、信頼関係が早くから築けました。お互いを理解している安心感があるので、メンバー間で「お互い様」の気持ちをもって進めることができ、みんなで「良いものをつくらう」という意識をもって頑張れたんだと思います。

Message

この活動に参加したことで、「働く」ということには楽しさも大切だということに気がきました。興味のあることやワクワクすることがあれば、まずやってみる!ことをオススメしたいです。

活動を振り返って

これまでの仕事は使命感や義務感も必要な職種だったため、思い詰め、自分自身のバランスを崩してしまうこともありました。今回のチームでの活動は、自分の居場所というか、お互いをありのまま肯定し合える環境だったので、私も再スタートできたと思っています。いま、「次は何をしたいかな?何をしようかな?」と意欲的になっている自分に驚いています。

できない理由を探すより、  
自分の心に正直に、  
挑戦してみようと思った